2016年3月期 決算説明会

2016年 5月 13日

喜びを創り喜びを提供する



http://www.kotobukispirits.co.jp/



目次

- 2016年3月期 決算概要
- 2017年3月期 通期業績予想
- 今後の経営方針とセグメント別業績の概況
- 株式の状況・株主還元
- 参考情報

P 1~18

P 19~23

P 24~48

P 49~54

P 55~72



2016年3月期 決算概要

2016年3月期決算の振り返り

消費税増税の影響など事業環境の変化による大変厳しい前期決算から一変し、 2016年3月期は過去最高値となる大幅な増収・増益を達成

(好決算の要因)

- ①首都圏エリアでの売上拡大 シュクレイが牽引
 - •首都圏主要売上実績 3.850百万円(対前期+792百万円)
- ②インバウンド対策・アウトバウンド対策も着実に効果が現れ、業績にインパクトを与えだした
 - ·国内主要国際空港売上実績 810百万円(対前期+576百万円)
 - ·海外売上実績 550百万円(対前期+550百万円)

(特筆すべき事項)

・本年1月にM&A(株式取得)で株式会社フランセを子会社化

(連結範囲の変更等)

- ・台灣北壽心股份有限公司の重要性が増したため、当期より連結の範囲に含める
- ・香港合弁会社「Honey Sucrey Limited」を持分法適用の範囲に含める
- 寿製菓及び但馬寿の組織再編(会社分割)に伴い、セグメント区分を統合

2016年3月期の業績ハイライト①

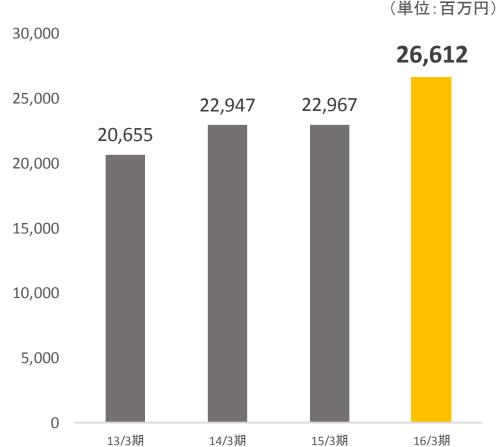
売上高



26,612 百万円 (前期比15.9%增)

●消費税増税の影響の一巡など 外部環境の改善傾向も追い風に なり、積極的な事業施策の遂行 により5期連続で過去最高売上を 更新。

(売上高増減要因)	増減額	増減率
首都圏主要売上	792	3.4%
インバウンド売上	576	2.5%
海外売上	550	2.4%
フランセ影響	917	4.0%
上記以外	810	3.5%
売上高増加額	3,646	15.9%



2016年3月期の業績ハイライト②

当期純利益



(当期純利益増減要因)

経常利益増加

特別利益増加

特別損失増加

法人税等增加

法人税等調整額增加

当期純利益増加額

(減損損失)

(負ののれん発生益)

2,305 百万円 (前期比76.7%増)

2,500

(単位:百万円)

2,305

●4期連続で過去最高益を更新。 2,000 当期純利益率は、前期の5.7%から 3.0ポイント増加の8.7%。

増減額

1,256

△ 206

△ 389

161

1,001

179

1,500

増減率 96.3% 13.7% -15.8%-29.9%12.3%

1,305 1,278 1,043 1.000 500 13/3期 15/3期 16/3期 14/3期

※当期純利益=親会社株主に帰属する当期純利益(他の資料箇所も同様)

76.7%

通期のトピックス

シュクレイ 首都圏での積極的なイベント・販売展開により躍進

(売上高 3,818百万円 前期比+36.6% / 営業利益 436百万円 同+191.6%)



ザ・メープルマニア 一日子ども店長





ザ・メープルマニア・コートクール 東京駅グランスタダイニング

シーカレノの主	上高(前年比較)
ンユソレイの元	上高(則年氏戦)

(百万円)

	15/3期	16/3期 増減		増減比
店舗	2,187	2,482	295	13.5%
催事	322	757	435	135.3%
通販	54	77	24	44.2%
卸	232	501	269	115.9%
計	2,795	3,818	1,023	36.6%

東京ミルクチーズ工場 超インターナショナルタイム

通期のトピックス

海外展開

・東京ミルクチーズ工場を香港に初出店







東京ミルクチーズ工場 香港展開

- 上環(シェンワン)店 12月18日OPEN
- 西貢(サイコン)店 1月9日OPEN



東京ミルクチーズ工場 上環(シェンワン)店

業績サマリー

売上高経常利益率 12.5% ROE 23.3%

(単位:百万円)

	2012.3期	2013.3期	2014.3期	2015.3期	2016.3期
売上高	19,738	20,655	22,947	22,967	26,612
(対前期比)	(+7.1%)	(+4.6%)	(+11.1%)	(+0.1%)	(+15.9%)
営業利益 (対前期比)	1,565	1,871 (+19.6%)	2,342	2,034 (△13.2%)	3,277
					(+61.1%)
経常利益 (対前期比)	1,526 (+16.0%)	1,889 (+23.8%)	2,362 (+25.0%)	2,070 (△12.4%)	3,326 (+60.7%)
当期純利益 (対前期比)	703 (+21.1%)	1,043 (+48.3%)	1,278 (+22.6%)	1,305 (+2.1%)	2,305 (+76.7%)
売上高経常利益率(%)	7.7	9.1	10.3	9.0	12.5
EPS (円)※	67.76	100.51	123.21	41.92	74.08
BPS (円)※	601.48	683.47	775.95	288.53	346.14
ROE (%)	11.7	15.6	16.9	15.3	23.3

[※]当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。 2015.3期・2016.3期のEPS及びBPS数値につきましては2015年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。-7-

2016年3月期業績(対前期)

売上高 対前期比15.9%増 経常利益 対前期比60.7%増フランセ影響除く売上高 対前期比11.9%増 経常利益 対前期比54.4%増

	15年3	月期	16年3	3月期	対前期		
(百万円、%)	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	
売上高	22,967	_	26,612	_	3,646	15.9	
売上総利益	12,215	53.2	14,701	55.2	2,486	20.4	
販売管理費	10,181	44.3	11,424	42.9	1,243	12.2	
営業利益	2,034	8.9	3,277	12.3	1,243	61.1	
経常利益	2,070	9.0	3,326	12.5	1,256	60.7	
当期純利益	1,305	5.7	2,305	8.7	1,001	76.7	
EPS(円)※	41.92		74.08		32.16		
ROE(%)	15.3		23.3		8.00		

[※]当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。 2015.3期-2016.3期のEPS数値につきましては2015年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

セグメント別の業績(対前期)

ケイシイシイ・シュクレイが大幅な増益を達成

		売.	上高		営業利益		
(百万円、%)	15/3期	16/3期	増減額	増減率	15/3期	16/3期	増減額
ケイシイシイ	8,331	9,095	764	9.2	957	1,290	333
寿製菓・但馬寿※1	8,140	8,867	727	8.9	560	671	112
販売子会社	4,434	4,868	433	9.8	225	330	105
シュクレイ	2,795	3,818	1,023	36.6	149	436	286
九十九島グループ	3,409	3,554	145	4.2	149	85	△ 64
フランセ※2	_	917	917	_	_	129	129
その他	26	227	201	763.0	△ 64	△ 45	20
セグメント計	27,136	31,345	4,209	15.5	1,976	2,896	921
調整額	△ 4,169	△ 4,732	△ 563	13.5	58	381	323
合 計	22,967	26,612	3,646	15.9	2,034	3,277	1,243

^{※1} 寿製菓・但馬寿は、組織再編(会社分割)に伴い、セグメント区分を統合しております。

^{※2} フランセの16/3期実績は、連結の範囲に含めた2016年2月~3月までの2ヶ月間が計上されております。

セグメント別の業績の補足説明

シュクレイ	店舗販促、催事強化などにより各ブランドの認知度が向上、。海外展開では香港に合弁会社を設立し、昨年12月に「東京ミルクチーズ工場」の上環(シェンワン)店、本年1月に西貢(サイコン)店を出店。 長崎・佐世保地区の堅調、新規出店効果で増収となった一方、人件費の増加、親会社へ支払う経営指導料増加などの販売管理費の増加を売上で吸収できず減益。
フランセ	本年2月実績より連結の範囲に含める。2月、3月がイベント商戦のある最繁忙期にあたり、利益計上。
その他	当連結会計年度より重要性が増した台灣北壽心股份有限公司を連結の範囲に含める。

売上高(販売チャンネル別)

卸売が対前期比20.2%増と大幅伸長

	15年3	3月期	16年3	3月期	対前期		
(百万円、%)	金額	売上比	金額	売上比	増減額 増減率		
売上高	22,967	_	26,612	_	3,646	15.9	
通信販売	2,430	10.6	2,301	8.6	Δ 129	△ 5.3	
(内ルタオ通販)	2,057	9.0	1,898	7.1	△ 158	△ 7.7	
店舗販売	9,786	42.6	10,842	40.7	1,056	10.8	
卸売	10,725	46.7	12,892	48.4	2,167	20.2	
海外	_	_	550	2.1	550		
その他	25	0.1	26	0.1	1.1	4.4	

(注)店舗販売は、主に直営店舗、催事など 卸売は、主に小売店(駅、空港、SAなど)、代理店卸、OEMなど 海外は台灣北壽心、ケイシイシイ(韓国)、シュクレイ(香港)など その他は健康食品事業、損害保険代理業など

売上原価・売上総利益

生産効率の改善、価格改定などにより売上総利益率が対前期比 2.0ポイント増加

	15年3	月期	16年3	3月期	対前期		
(百万円、%)	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	
売上高	22,967	_	26,612	_	3,646	15.9	
材料費	5,768	25.1	6,449	24.2	681	11.8	
労務費	2,849	12.4	3,023	11.4	174	6.1	
製造経費	1,265	5.5	1,409	5.3	144	11.4	
製造原価計	9,882	43.0	10,881	40.9	999	10.1	
その他	870	3.8	1,030	3.9	160	18.4	
売上原価合計	10,752	46.8	11,911	44.8	1,159	10.8	
売上総利益	12,215	53.2	14,701	55.2	2,486	20.4	

販売管理費・営業利益

販売管理費 対売上比率 1.5ポイント減少

	15年3月期		16年3	3月期	対前期		
(百万円、%)	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	
売上総利益	12,215	53.2	14,701	55.2	2,486	20.4	
人件費	4,150	18.1	4,684	17.6	534	12.9	
販売促進費	1,856	8.1	2,002	7.5	146	7.9	
運賃	816	3.6	869	3.3	53	6.5	
広告宣伝費	243	1.1	219	0.8	△ 25	Δ 10.1	
地代家賃	1,040	4.5	1,325	5.0	284	27.3	
減価償却費	316	1.4	338	1.3	22	7.0	
旅費交通費	378	1.6	405	1.5	27	7.2	
その他	1,382	6.0	1,583	5.9	201	14.5	
販売管理費	10,181	44.4	11,424	42.9	1,243	12.2	
営業利益	2,034	8.9	3,277	12.3	1,243	61.1	

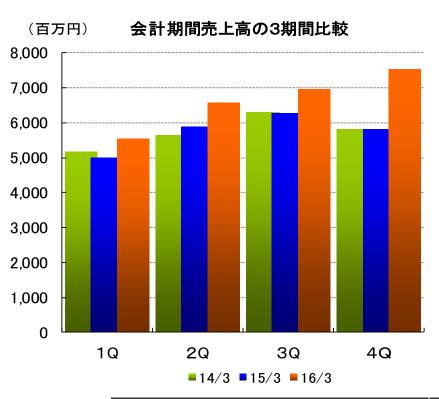
公表数字に対する達成率

売上面・利益面ともに修正予想達成

	期初 2015.5.		修正予想 2016.10.26公表		16年3月期		対修ュ	E予想	
(百万円、%)	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	増減額	達成率	
売上高	23,700	_	24,560	_	26,612	_	2,052	108.4	
売上総利益	12,660	53.4	13,365	54.4	14,701	55.2	1,336	110.0	
販売管理費	10,510	44.3	10,690	43.5	11,424	42.9	734	106.9	
営業利益	2,150	9.1	2,675	10.9	3,277	12.3	602	122.5	
経常利益	2,150	9.1	2,700	11.0	3,326	12.5	626	123.2	
当期純利益	1,390	5.9	1,870	7.6	2,305	8.7	435	123.3	

四半期業績の推移(売上高)

売上高 第4四半期会計期間 29.9%増(フランセを除いた場合14.0%増)

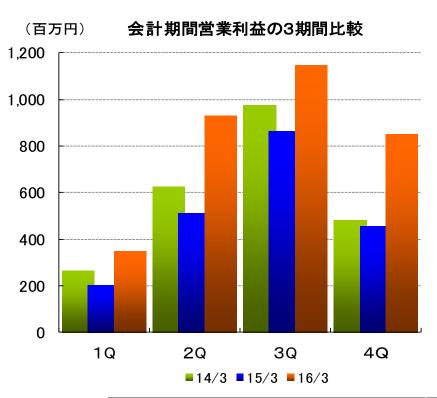


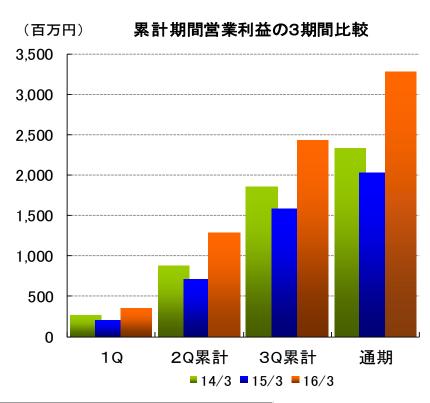


	会計期間				累計期間			
(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
14/3	5,185	5,638	6,304	5,820	5,185	10,823	17,126	22,947
15/3	5,001	5,889	6,275	5,802	5,001	10,890	17,165	22,967
16/3	5,542	6,569	6,968	7,534	5,542	12,111	19,078	26,612
増減率	10.8%	11.5%	11.0%	29.9%	10.8%	11.2%	11.1%	15.9%

四半期業績の推移(営業利益)

営業利益 第4四半期会計期間 86.3%増(フランセを除いた場合57.5%増)





		会計	期間		累計期間				
(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	
14/3	263	624	975	480	263	887	1,862	2,342	
15/3	202	510	866	455	202	712	1,578	2,034	
16/3	350	931	1,148	848	350	1,280	2,429	3,277	
増減率	73.4%	82.3%	32.6%	86.3%	73.4%	79.8%	53.9%	61.1%	

貸借対照表

フランセの子会社化に伴う影響などにより資産・負債が大幅に増加

	14年3	3月期	15年3月期		16年3月期		対前期末	
(百万円、%)	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	6,580	45.2	6,606	45.0	8,517	47.5	1,911	28.9
固定資産	7,977	54.8	8,089	55.0	9,420	52.5	1,331	16.5
資産合計	14,558	100.0	14,695	100.0	17,937	100.0	3,242	22.1
流動負債	4,852	33.3	4,260	29.0	4,819	26.9	559	13.1
固定負債	1,656	11.4	1,456	9.9	2,346	13.1	890	61.1
負債合計	6,508	44.7	5,716	38.9	7,165	39.9	1,449	25.4
純資産	8,049	55.3	8,979	61.1	10,772	60.1	1,793	20.0
負債純資産合計	14,558	100.0	14,695	100.0	17,937	100.0	3,242	22.1
BPS(円)※	775.95		288.53		346.14		57.61	20.0
設備投資額	854		599		797		198	33.1
減価償却費	625		637		736		99	15.6

[※]当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。 2015.3期-2016.3期のBPS数値につきましては2015年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

キャッシュ・フロー計算書

投資活動によるキャッシュ・フローの増加は、主に設備投資及びフランセに対する貸付の影響

	14年3月期	15年3月期	16年3月期	対前	ī期
(百万円、%)	通期	通期	通期	増減額	増減率
営業活動CF	1,846	1,896	3,244	1,349	71.1
投資活動CF	△ 523	△ 834	△ 2,343	△ 1,509	180.9
フリーCF	1,322	1,062	901	△ 161	△ 15.1
財務活動CF	△ 939	△ 997	△ 284	713	△ 71.5
現金及び現金同等物に係る 換算差額	_	_	Δ 6	Δ 6	_
cash増減	384	65	617	552	851.5
cash期首	2,107	2,491	2,555	65	2.6
連結範囲の変更に伴う現金 及び現金同等物の増減額	-	_	88	88	-
cash期末	2,491	2,555	3,254	699	27.3
有利子負債	2,581	2,025	2,178	153	7.6
現金•預金	2,691	2,755	3,454	699	25.4
ネット有利子負債※	Δ 110	△ 730	Δ 1,276	△ 546	74.7



2017年3月期 通期業績予想

2017年3月期 通期業績予想(前年対比)

売上高31,370百万円(前期比17.9%増)、経常利益3,700百万円(前期比11.3%増) フランセ影響除く売上高27,270百万円(前期比6.1%増)経常利益3,477百万円(前期比8.8%増)

	16年3	月期	17年3月	朝(予想)	対前期		
(百万円、%)	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	
売上高	26,612	_	31,370	_	4,758	17.9	
売上総利益	14,701	55.2	17,410	55.5	2,709	18.4	
販売管理費	11,424	42.9	13,730	43.8	2,306	20.2	
営業利益	3,277	12.3	3,680	11.7	403	12.3	
経常利益	3,326	12.5	3,700	11.8	374	11.3	
純利益	2,305	8.7	2,410	7.7	105	4.5	
EPS(円)※	74.08		77.44		3.36	4.5	
1株当たり配当金(円)※	20.00		25.00		5.00	25.0	
設備投資	797		1,100		303	38.0	
減価償却費	736		930		194	26.4	

[※]当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。 2016.3期のEPS数値及び1株当たり配当金につきましては2016年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

2017年3月期 通期業績予想のポイント

●予想スタンス

首都圏展開、インバウンド・アウトバウンド対策などの重点施策の遂行により引続き成長トレンドで推移すると見込んでいるが、景気の先行きは依然として不透明なため、業績予想は慎重に立案。

●フランセの影響

フランセの損益構造は、事業・商品特性による季節変動要因により、売上面・利益面共に下期にウエートが高くなる。現在、進行中の経営の抜本的見直し(工場改善、リブランディング、経営管理システムの変更など)の影響は、下期から改善効果を見込んでいる。

(フランセ業績予想)

(単位:百万円)

	上期	下期	通期
売上高	1,515	2,585	4,100
営業利益	△ 234	346	112

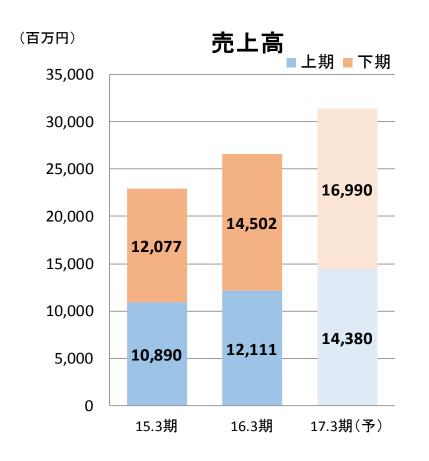
●熊本地震の影響

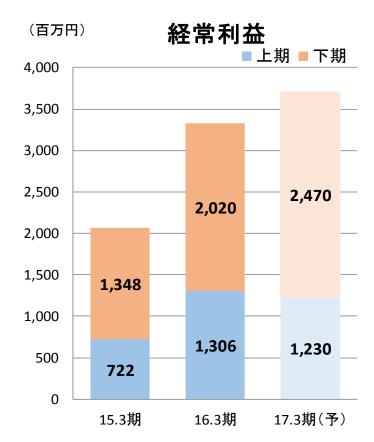
直接的な被害はないものの、売上面では、寿製菓の代理店卸(大分、熊本)、 販売子会社(宮崎)、九十九島グループ(長崎・佐世保)は、旅行客減少などに より、上期で350百万円の減収見込む。

●設備投資·減価償却

設備投資計画は、フランセが工場改修、ライン新設等で350百万円の実施予定。グループ全体で11億円を予想。これに伴い減価償却費予想は9.1億円 (内、フランセは1.5億円)。

2017年3月期 通期業績予想(上期・下期比較)





(単位:百万円)

	売上高					経常利益						
	15.3期	構成比	16.3期	構成比	17.3期(予)	構成比	15.3期	構成比	16.3期	構成比	17.3期(予)	構成比
上期	10,890	47.4%	12,111	53.6%	14,380	45.8%	722	34.9%	1,306	39.3%	1,230	33.2%
下期	12,077	52.6%	14,502	64.1%	16,990	54.2%	1,348	65.1%	2,020	60.7%	2,470	66.8%
通期	22,967	100.0%	22,612	117.7%	31,370	100.0%	2,070	100.0%	3,326	100.0%	3,700	100.0%

2017年3月期 通期業績予想(セグメント別)

新生「フランセ」が傘下に加わり、引き続き重点施策の推進により、過去最高益更新を目指す

		売」	-高		営業利益		
_(百万円、%)	16/3月期	17/3月期予	増減額	増減率	16/3月期	17/3月期予	増減額
ケイシイシイ	9,095	9,700	605	6.7	1,290	1,430	140
寿製菓•但馬寿	8,867	9,460	593	6.7	671	722	51
販売子会社	4,868	5,140	272	5.6	330	395	65
シュクレイ	3,818	4,380	562	14.7	436	480	44
九十九島グループ	3,554	3,590	36	1.0	85	62	△ 23
フランセ※	917	4,100	3,183	347	129	112	△ 17
その他	227	310	83	37	△ 45	△ 64	Δ 19
セグメント計	31,345	36,680	5,335	17.0	2,896	3,137	241
調整額	△ 4,732	△ 5,310	△ 578	12.2	381	543	162
合計	26,612	31,370	4,758	17.9	3,277	3,680	403

[※] フランセの16/3期実績は、連結の範囲に含めた2016年2月~3月までの2ヶ月間が計上されております。



今後の経営方針とセグメント別業績の概況

ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

- ●「高い価値の創造」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「地域性(Local)」と「専門店性(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- ●地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様なプレミアムスイーツ(Premium Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

今後の経営方針

2016年経営スローガン

ダブルエスアール・ダブルエスアール

WSR ワールド サプライジング リゾート宣言

ワールド(W) 世界へ サプライジング(S) ありえないほどの驚きの リゾート(R) 非日常(超感動)を提供する

目標指標 売上高経常利益率 20%

持続的な成長に向け、更なる粗利率の改善と成長戦略の遂行に注力

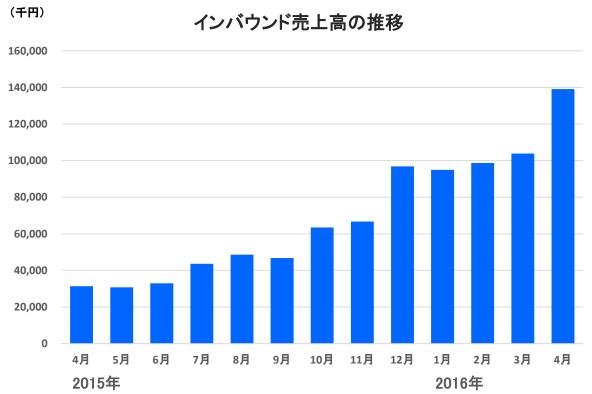
当面の重点施策

①インバウンド対策の強化

- ・国内主要国際空港(成田・羽田・関空・札幌など)における免税売店等への販売強化
- ・直営店舗での免税対応、外国語接客・表示対応



東京ミルクチーズ工場 成田空港



当面の重点施策

②海外展開(海外における事業モデルの構築)

・アジアを中心に直接進出、フランチャイズ方式、合弁方式、OEMなど

台湾

韓国

香港



直接進出

フランチャイズ方式

合弁方式

- 30 -

当面の重点施策

③首都圏でのWSR化展開の推進

- ・シュクレイ 新ブランド(GENDY・Butter Butler)の確立 新規SAの展開
- Ivorish、GLACIELの展開
- ・グループ各社による催事展開の推進





GENDY Butter Butler

当面の重点施策

4プレミアム・ギフトスイーツの創造と育成

- ・美味しさの追求と、少チャンネル・多用途のプレミアム・ギフトスイーツの開発推進
- ・主力商品のリニューアルによるバージョンアップと価格改定



当面の重点施策数値目標

①~③の重点施策目標数値 2年後の2018.3期に 100億円突破を目指す。

(単位:百万円)

	実績	実績	目標数値		
	2015/3期	2016/3期	2018/3期	増減	
①インバウンド売上	234	810	2,500	1,690	
②海外売上	0	550	1,500	950	
③首都圏主要売上	3,058	3,850	6,000	2,150	
1+2+3	3,292	5,210	10,000	4,790	

- ①インバウンド売上・・・国内主要国際空港での売上
- ②海外売上・・・台湾(現地法人売上)、韓国・香港などは国内出荷売上(ロイヤルティ含む)
- ③首都圏主要売上・・・シュクレイ(インバウンド除く)、アイボリッシュ、グラッシェルの首都圏売上 (注)上記金額には、新たに連結の範囲に含めた「フランセ」の数値は含まれていない。

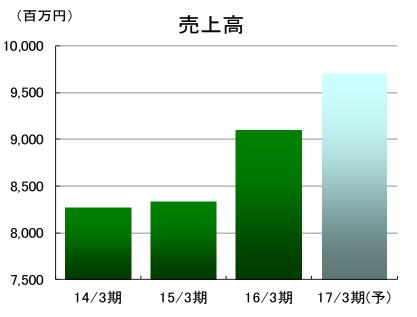
セグメント別概況

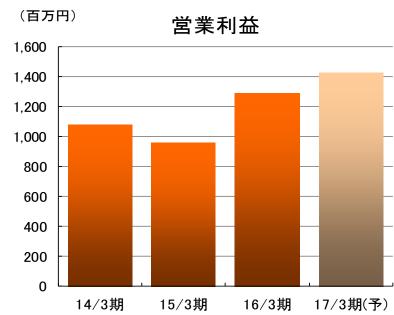
- ケイシイシイ
- 寿製菓・但馬寿
- 販売子会社
- シュクレイ
- 九十九島グループ
- フランセ
- その他



≪ケイシイシイ≫

来期予想: 売上高 9,700百万円(前期比+6.7%) 営業利益 1,430百万円(同+10.9%)





ケイシイシイ

	14/3期	15/3期	16/3期	対前期		17/3期(予)	対前	前期
(百万円,%)	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	8,267	8,331	9,095	764	9.2	9,700	605	6.7
売上総利益	4,913	4,947	5,535	588	11.9	5,924	389	7.0
粗利率	59.4	59.4	60.9	1.5		61.1	0.2	
販売管理費	3,834	3,991	4,245	254	6.4	4,494	249	5.9
営業利益	1,079	957	1,290	333	34.9	1,430	140	10.9

≪ケイシイシイ≫

インバウンド対策の徹底強化





インバウンド 主な対策

- ・数カ国語POP、プライス、コミュニケーションカード
- ・アジアのメディア取材積極受け入れ
- ・小樽全店免税対応レジ導入
- ・免税バッグ販売
- •海外人財の採用
- ・うまディスプレイの導入



<u>うまディスプレイ</u> 新千歳空港

<u>うまディスプレイ</u>

関西国際空港 - 35 -

≪ケイシイシイ≫

海外展開:グローバルブランドとして世界へ発信





LeTAO アックジョン店(韓国 ソウル)

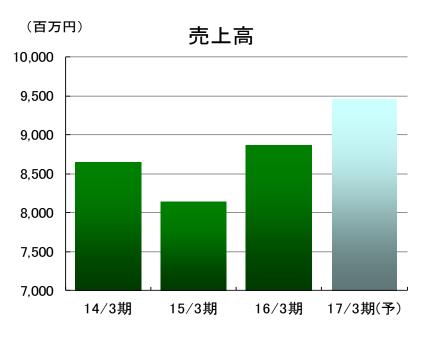
《台灣北壽心 セグメント名称「その他」》

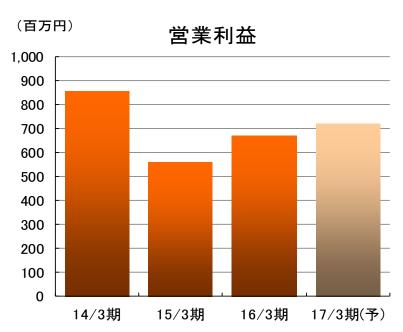
来期予想:売上高 230百万円(前期比十15.7%)営業利益 10百万円(前期は営業損失11百万円) 昨年4月に2店舗目となるカフェ出店、LeTAOの認知度拡大と物販強化に注力



≪寿製菓•但馬寿≫

来期予想: 売上高 9,460百万円(前期比+6.7%) 営業利益 722百万円(同+7.5%)





寿製菓•但馬寿

	14/3期	15/3期	16/3期	対育	前期	17/3期(予)	対前	前期
(百万円,%)	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	8,641	8,140	8,867	727	8.9	9,460	593	6.7
売上総利益	3,303	2,976	3,328	352	11.8	3,487	159	4.8
粗利率	38.2	36.6	37.5	1.0		36.9	△ 0.7	
販売管理費	2,445	2,417	2,657	240	9.9	2,765	108	4.1
営業利益	858	560	671	112	20.0	722	51	7.5

≪寿製菓•但馬寿≫

重点対策:新商品開発・主力商品強化・販路開拓

グループ会社・代理店との連携強化と、地元山陰地区のシェア拡大に注力

山陰の信の白うさぎ

INABA no SHIRO USAGI





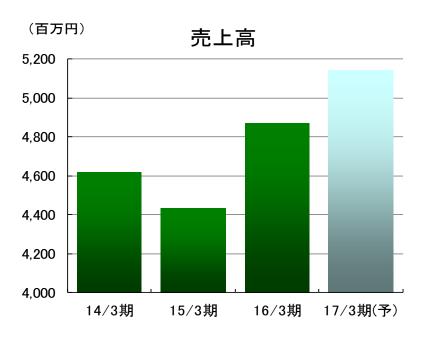


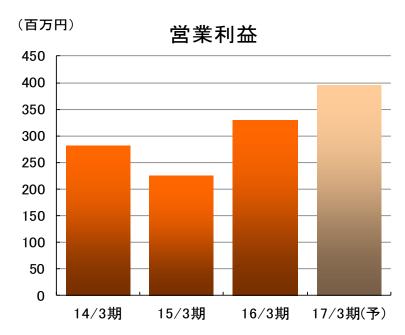
因幡の白うさぎ

抹茶フォンデュ

≪販売子会社≫

<u>来期予想: 売上高 5,140 百万円(前期比十5.6%) 営業利益 395 百万円(同十19.8%)</u>





販売子会社

	14/3期	15/3期	16/3期	対前	前期	17/3期(予)	対前	前期
(百万円,%)	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	4,619	4,434	4,868	433	9.8	5,140	272	5.6
売上総利益	1,399	1,355	1,550	195	14.4	1,695	145	9.3
粗利率	30.3	30.6	31.8	1.3		33.0	1.1	
販売管理費	1,118	1,130	1,221	90	8.0	1,300	79	6.5
営業利益	281	225	330	105	46.5	395	65	19.8

≪販売子会社≫

交通拠点チャンネル(駅・空港・SA)での展開強化

売場改善等の提案営業強化により、主力商品の更なる売上増大を目指す



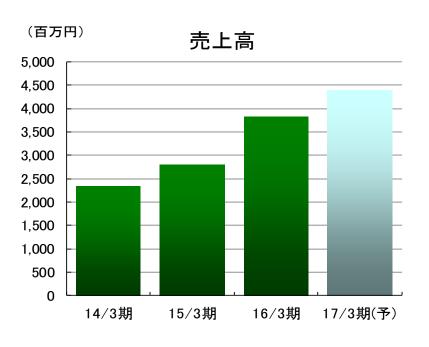
小倉トーストラングドシャ

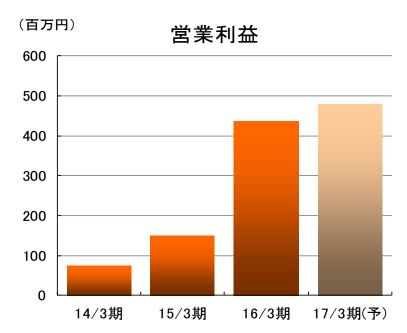
KYOTO VENETO 関西国際空港

まっかな苺のラングドシャ 福岡空港

《シュクレイ》

<u>来期予想: 売上高 4,380 百万円(前期比十14.7%) 営業利益 480 百万円(同十10.1 %)</u>





シュクレイ

	14/3期	15/3期	16/3期	対育		17/3期(予)	対前	前期
(百万円,%)	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	2,336	2,795	3,818	1,023	36.6	4,380	562	14.7
売上総利益	1,247	1,537	2,202	665	43.2	2,478	276	12.5
粗利率	53.4	55.0	57.7	2.7		56.6	△ 1.1	
販売管理費	1,174	1,388	1,766	378	27.3	1,998	232	13.1
営業利益	74	149	436	286	191.6	480	44	10.1

≪シュクレイ≫

強固なブランドポートフォリオでWSRを推進

- ・既存店舗・催事・駅・空港卸のチャンネルで季節イベント・インバウンド対策を推進
- ・東京ミルクチーズ工場の香港での展開

上環(シェンワン)、西貢(サイコン)に続き 3店舗目となる店舗を旺角(モンコック)ランガムプレイスに出店(2016年7月予定)









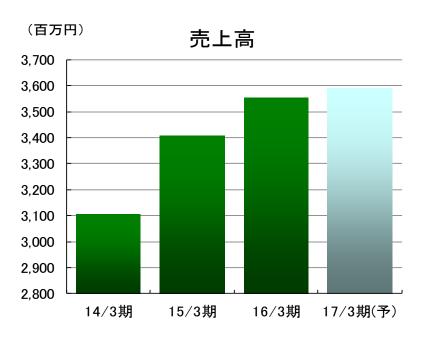


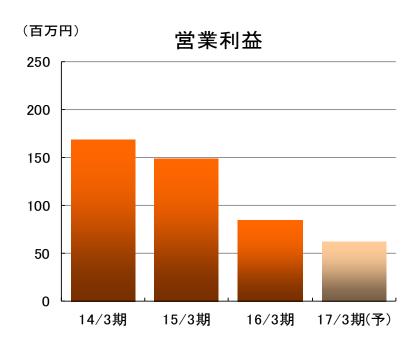




≪九十九島グループ≫

<u>来期予想:売上高 3,590百万円(前期比十1.0%)営業利益 62百万円(同△27.1%)</u>





九十九島グループ

	14/3期	15/3期	16/3期	対前	前期	17/3期(予)	対前	期
(百万円,%)	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	3,104	3,409	3,554	145	4.2	3,590	36	1.0
売上総利益	1,271	1,432	1,525	93	6.5	1,542	17	1.1
粗利率	40.9	42.0	42.9	0.9		43.0	0.0	
販売管理費	1,102	1,283	1,440	157	12.2	1,480	40	2.8
営業利益	169	149	85	△ 64	△ 43.0	62	△ 23	△ 27.1

≪九十九島グループ≫ フレンチトースト専門店「Ivorish」首都圏での展開強化



・ 更なる認知度の拡大に向け新規出店の検討と、物販商品開発の推進



















Ivorish 渋谷



Ivorish 海老名⁻⁴⁵⁻

《フランセ》



株式会社明治との株式譲渡契約により、2016年1月22日付けで子会社化(2月から連結範囲に含める)

投資目的 ・関東圏における製造拠点の設置と製造ライン(ミルフィユ)の活用

「フランセ」ブランドの継承(ギフト・土産販路拡大による関東圏での展開強化)

<会社概要>

名称 株式会社フランセ

所在地 神奈川県横浜市金沢区福浦二丁目9番4号

設立年月 1971年9月

事業内容 地盤である神奈川県及び関東を中心に、ミルフィユをはじめとする洋菓子

類の製造販売を行っております。

製造拠点 横浜・浜松の2拠点

販路 百貨店、駅ビル・専門店、量販店、お土産経路など関東圏を中心に全国に展開

従業員 275名(パート、契約社員含む)

フランセ

_						
	15/3期	16/3期		17/3期(予)	対前期	
(百万円,%)	金額	金額	内連結対象	金額	増減額	増減率
売上高	4,703	4,085	917	4,100	15	0.4
売上総利益	1,941	1,864	465	2,160	296	15.9
粗利率	41.3	45.6	50.7	52.7	7.1	
販売管理費	1,989	1,800	336	2,048	248	13.8
営業利益	△ 48	63	129	112	49	76.5

《フランセ》

経営の抜本的な見直しプロジェクトを推進 横浜NO.1ブランドを目指す



・工場改善、リブランディング、理念浸透、経営管理システムの変更等



ミルフィユ



<u>新商品</u> 木苺をたのしむ ミルフィユ

レモンをたのしむ ミルフィユ

≪その他≫

純藍

純藍「藍の青汁」通販事業中心に事業モデル確立を目指す





株式の状況・株主還元

株式分割の実施

1.株式分割の目的

投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上 と投資家層の更なる拡大を図る

- 2.株式分割の概要
- (1)分割の方法

2016年3月31日最終の株主名簿に記載または記録された株主が所有する普通株式1株につき、3株の割合をもって分割を実施

(2)分割により増加する株式数

株式分割前の当社発行済株式総数 10,373,840株 今回の分割により増加する株式数 20,747,680株 株式分割後の当社発行済株式総数 31,121,520株 株式分割後の当社発行可能株式総数 91,200,000株

(3) 効力発生日 2016年4月1日

株式の状況

(2016年3月31日現在)

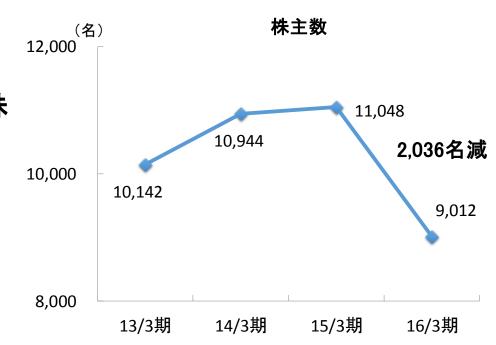
- ■発行可能株式総数 30,400,000**株**
- ■発行済株式総数 10,373,840**株**

注)出資比率は、自己株式535株を除く

- ■単元株式数 100株
- ■株主数 9,012名

(対前期末比 2,036名減)

■大株主(上位5位)



株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	3,100,000	29.88
寿スピリッツ従業員持株会	328,226	3.16
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	322,400	3.11
株式会社山陰合同銀行	300,000	2.89
とりぎんリース株式会社	254,000	2.45

<u>株主還元</u>

■配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元に努めることを基本方針としております。

■2017年3月期1株当たり配当金予想 25円(注)



(注)当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。予想一株当たり配当金は分割後の発行済株式数より算出しており、分割前に遡及修正して換算すると予想配当額は、1株当たり75円となります。

【2015年度の株主優待商品】

株主優待制度の変更

当社では株主の皆様への利益還元の一つといたしまして株主優待制度を実施しています。

株式分割に伴い、分割後の優待制度の見直しを図り、2017年度より次のとおり株主優待制度を変更いたします。

	現行	変更後		
ご所有株式数	内容	ご所有株式数	内容	
100株以上 200株未満	2,000円相当のグループ製品	100株以上 500株未満	2,000円相当のグル―プ製品	
200株以上 1,000株未満	4,000円相当のグループ製品	500株以上 1,000株未満	4,000円相当のグループ製品	
1,000株以上	4,000円相当のグループ製品 + 3,000円相当の直営店舗利用券 (代替商品送付可)	1,000株以上	4,000円相当のグループ製品 + 3,000円相当の直営店舗利用券 (代替商品送付可)	



100株以上ご所有の株主様 2,000円相当の当社グループ商品



200株以上ご所有の株主様 4,000円相当の当社グループ商品

【株主優待券】



今後とも寿スピリッツグループを 何卒宜しくお願い致します。

くお問い合わせ>

寿スピリッツ株式会社 経営企画部

TEL 0859-22-7477

URL http://www.kotobukispirits.co.jp/

注意事項

この資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。 また、業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、 記載された将来の計画数値、施策実現を確約したり、保証するものではありません。





《参考情報》

会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証第一部)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体10名•連結1,106名
グループ会社	連結子会社18社(国内17社・海外1社)
連結売上高	266億円(2016年3月期)

沿革(1)

1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に<mark>寿製菓株式会社を</mark>設立し、 **台菓子等の製造を開始**。

1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。

1968年11月(昭和43年)銘菓"<mark>因幡の白うさぎ"を発売し、観光土産用菓子の</mark> 高級化に取組む。

1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキ(現 株式会社北陸寿)を設立。 その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。

1979年5月 (昭和54年)現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。

1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に株式会社但馬寿を設立。

1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する 『草冠のない菓子=果子』をコンセプトに、他社との 差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】

1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『お菓子の壽城』を設置。小売事業に本格着手。

1994年11月(平成6年)ジャスダック上場。

1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現株式会社ケイシイシイ)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



"因幡の白うさぎ"



寿製菓㈱ 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に 株式会社つきじちとせを設立。東京和菓子ブランド 展開に着手。

北海道小樽市に株式会社ケイシイシイが『小樽洋菓子舗ルタオ』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。

2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、株式会社九十九島グループスタート。

2006年10月(平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により 純粋持株会社体制に移行。

2011年12月(平成23年)東京都港区に株式会社シュクレイを設立。

2012年1月 (平成24年)株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。

2012年11月(平成24年)台湾台北市に台灣北壽心股份有限公司を設立。

2013年4月 (平成25年)東京証券取引所市場第二部に上場。

2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。

2014年9月 (平成26年) 東京都港区に純藍株式会社を設立。

^{2016年1月} (平成28年) 株式会社フランセの全株式を取得して子会社化。



小樽洋菓子舗ルタオ



"ドゥーブルフロマージュ"



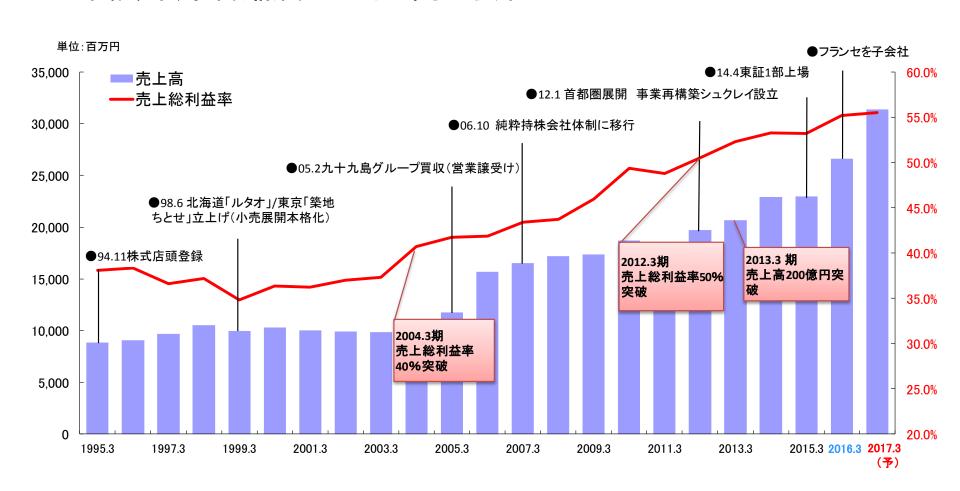


"九十九島せんぺい"

寿スピリッツグループの変遷①

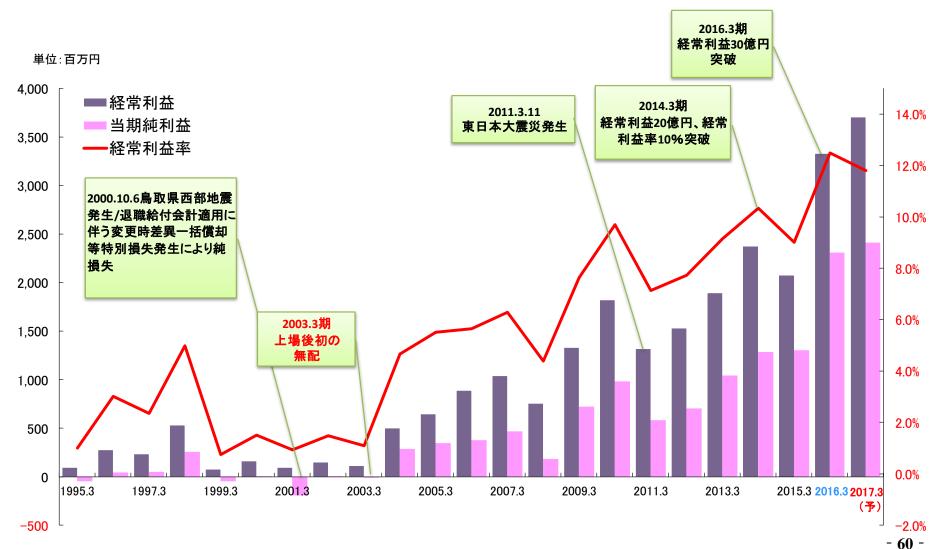
製造卸から製造小売へ事業モデルを転換/高粗利益率経営を推進

組織改革、事業再構築、M&A など果敢に取り組む



寿スピリッツグループの変遷②

2014.3期 売上高経常利益率10%突破、高い収益性を実現



経営理念について

経営理念

喜びを創り喜びを提供する

寿スピリッツグループは、「喜びを創り喜びを提供する」を経営の基本理念に、これをすべての事業活動の指針として、地域社会に貢献する企業集団として事業活動を行っております。

シンボルマーク



「寿スピリッツ」社名の由来

当社グループが積極果敢で熱い精神を引き継ぎ、 これからの時代を全力で切り拓き、 より大きな喜びを創造していく会社へ。 そのような念いで新社名『寿スピリッツ株式会社』を制定し、 シンボルマークには

社員一人ひとりの気持ちが重なって"輪"になるという意味が込められています。

基本ポリシー

基本ポリシー

今日一人、熱狂的なファンを創る

私達は、経営理念の実現に向け、「今日一人、熱狂的なファンを創る」ことを基本ポリシーに、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「全員参画の理念経営」の徹底実践により活力ある魅力溢れた企業集団を創り、「高い価値を創造」する高利益企業を目指してまいります。



経営理念をベースとした全員参画型経営を構築

1996年3月期より京セラ様の経営管理手法「アメーバ経営」を導入

2003年1月、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、

すべての従業員に周知徹底、経営理念の浸透と企業倫理の徹底に努めています。

≪こづち発表全国大会≫

経営理念を徹底実践し、それぞれの実践による成果を全従業員が共有化し、更なる大きな成果 を生み出していくことを目的に毎年1回開催しています。





主要ショップブランド



主力商品一例



LeTAO

「ドゥーブルフロマージュ」 🚳 🦝 製菓 株式 会社 「因幡の白うさぎ」 お菓子の 壽 城 「とち餅」







「ソルト&カマンベールクッキー」



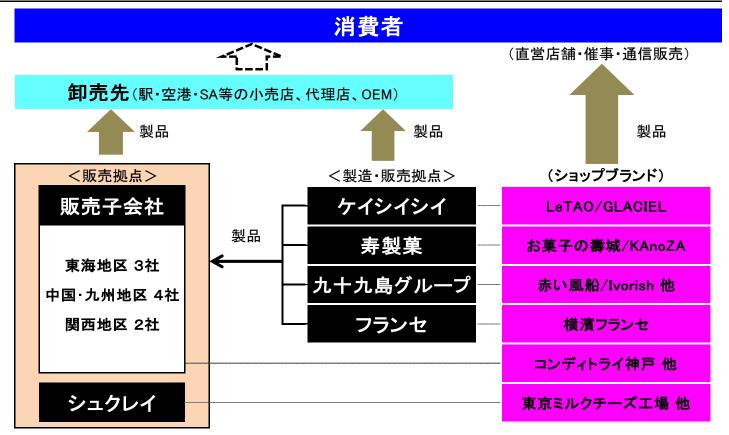
「九十九島せんぺい」

事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社18社で構成。 事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットホームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]





熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語であります。

≪ケイシイシイ≫

●LeTAO 小樽店舗での多言語対応



LeTAOでは外国語対応スタッフが対応言語のピンバッジをつけて接客をおこなっています。 海外からお越しのお客様にLeTAOのスイーツを更に楽しんで頂くために、世界中に一人でも 多くの熱狂的ファンを創るために、小樽からLeTAOを発信していきます。



GAINARE

≪寿製菓•但馬寿≫

経日信の白ラさぎ

●ガイナーレ鳥取 新ユニフォーム

今シーズンより柱谷哲二新監督を迎えたガイナーレ鳥取。

J3からJ2への昇格を目指す2016年シーズンは「因幡の白うさぎ」を背負って戦い抜きま







≪シュクレイ≫

●ザ・メープルマニア 1日子ども店長



大好評につき第11回目を迎えた恒例企画ザ・メープルマニア1日子ども店長。 子ども店長の可愛らしいメープルダンスが沢山の人達を笑顔にしています。







≪九十九島グループ≫

●赤い風船 パティシエ体験

赤い風船のパティシエとして特別なケーキ作りを体験。 フルーツたっぷりの楽しいデコレーションケーキが完成しました。





≪株主懇談会での取組み≫

●2015年6月25日(木)に定時株主総会終了後に開催された株主様との懇談会 KAnoZA大森シェフ特製のスイーツが一年に一度の貴重な時間を彩りました。

